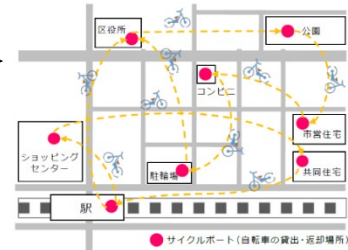


横浜市では市内広域シェアサイクル事業の社会実験を実施しています

- 横浜市では、地域の移動手段としての自転車の役割の拡大や自転車通勤の更なる普及を見据え、公共交通の機能補完等を目的に、横浜市広域でのシェアサイクル事業社会実験を実施しています。(2022年6月から2025年3月31日)

<シェアサイクルとは>

- シェアサイクルは、地域内に設置された複数のサイクルポートを相互に利用でき、借りた場所でなくても自転車が返却できる利便性の高い交通システムです。
- 公共交通の機能を補完し、買物・レジャー利用や通勤通学等、環境に優しい地域の移動手段の一つとして近年日本全国で導入が進められています。

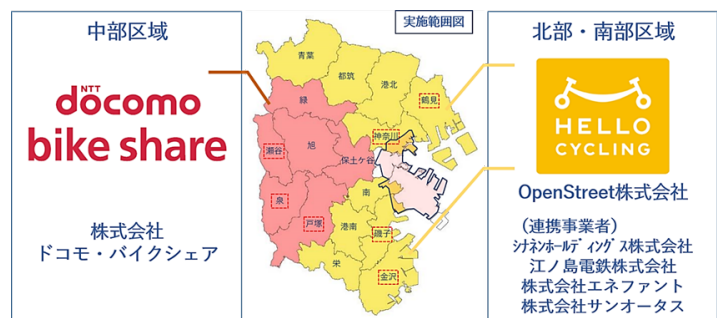


- 青葉区を含めた北部区域は、OpenStreet 株式会社（他連携事業者 4 社）が本社会実験の協働事業者となっており、令和 5 年 1 月末時点で青葉区内では 17 箇所（101 台分）を設置しています。

<実施範囲図> 横浜都心部区域を除く市内を 3 つの区域に分け、社会実験を実施しています。



シェアサイクルポート（こどもの国駅自転車駐車場内）



重点展開区 横浜都心部区域（対象外）

- 現在、区役所や青葉台駅周辺、一般下水道用地（雨水調整池等）、寺家ふるさと村などの公有地へのシェアサイクルポート設置に向けて、調整をしています。
- 本社会実験では、「シェアサイクルポート」の設置スペース（標準寸法は右図参照）を随時募集しています。土地や施設等を所有されている方で、ポート設置にご関心をお持ちの方は、お気軽に道路局交通安全・自転車政策課までお問い合わせください。

(参考) シェアサイクルポート標準寸法



<送付資料>

- 横浜市広域シェアサイクル事業社会実験啓発チラシ
いつでも、きがるに‘シェアサイクル’で行こう！
- HELLO CYCLING リーフレット
- 青葉区内のシェアサイクルポートの設置状況

お問合せ先
 道路局交通安全・自転車政策課
 電話 671-3644 FAX 663-6868
 青葉区 区政推進課
 電話 978-2217 FAX 978-2410